

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東  
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 八代 紀裕 TEL 011-721-4311  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,885	△1.8	1,270	△3.4	1,335	△4.1	696	△2.9
2023年3月期第2四半期	18,217	0.7	1,315	△9.6	1,392	△8.9	717	△9.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 922百万円 (△4.8%) 2023年3月期第2四半期 969百万円 (△6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	46.98	-
2023年3月期第2四半期	48.36	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	27,805	17,477	53.5	1,003.24
2023年3月期	26,164	16,809	54.8	966.99

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 14,880百万円 2023年3月期 14,343百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	14.00	14.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	2.4	2,200	0.3	2,360	0.1	1,216	△6.3	81.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	15,180,000株	2023年3月期	15,180,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	347,321株	2023年3月期	347,297株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	14,832,698株	2023年3月期2Q	14,832,750株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行されたことで、経済活動の正常化が進み回復基調となりました。しかしながら、物価の高騰や各国の金融引き締めによる景気下振れリスク、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクの高まりによる影響などから先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、資材価格の高騰による住宅建設コストの高止まりが続いております。新設住宅着工戸数は法人による投資が堅調である貸家は底堅く推移しておりますが、持家や分譲住宅では減少傾向の動きが見られ、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループでは、卸売事業における新商品開発と販売強化、小売事業における各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高178億85百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益12億70百万円（同3.4%減）、経常利益13億35百万円（同4.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億96百万円（同2.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (卸売事業)

住宅市場は、資材価格の高騰による建設コストの増加が住宅着工を抑制する要因となり、全国では持家、総数ともに前年を下回って推移しております。4月から8月までの新設住宅着工戸数（持家）は全国で99,458戸（前年同期比9.8%減）、北海道で4,320戸（同8.9%減）と前年を下回っており、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような状況のもと、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などのオリジナル商品の販売強化に努めてまいりましたが、新設住宅着工戸数減少の影響もあり、売上高55億19百万円（前年同四半期比6.0%減）、営業利益5億24百万円（同0.4%減）となりました。

#### (小売事業)

ホームセンター業界においては、引き続き同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、お客様満足度の向上と、接客力の強化による他店との差別化に努めてまいりましたが、人件費、水道光熱費を始めとした経費増加もあり、売上高112億78百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益8億6百万円（同8.6%減）となりました。

#### (不動産事業)

賃貸資産の適切なメンテナンスと効率的な運用を心掛けており、売上高2億11百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益1億29百万円（同0.5%増）となりました。

#### (足場レンタル事業)

業務の効率化による生産性の向上と経費削減に努めておりますが、昨年12月に帯広営業所を閉鎖した影響もあり、売上高3億5百万円（前年同四半期比20.8%減）、営業利益27百万円（同18.9%減）となりました。

#### (サッシ・ガラス施工事業)

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めており、売上高5億70百万円（前年同四半期比12.7%増）、営業利益37百万円（前年同四半期は営業損失20百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は278億5百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億40百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が5億52百万円、売上債権が9億34百万円、商品が2億50百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は103億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて9億72百万円増加しております。これは主に、買入債務が8億7百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は174億77百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億68百万円増加しております。1株当たりの純資産は1,003円24銭となり、前連結会計年度末に比べて36円25銭増加しております。

なお、自己資本比率は53.5%となっており、前連結会計年度末と比較して1.3ポイント低下しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億52百万円増加し、39億19百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果による資金の増加は9億82百万円（前年同四半期は5億67百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益13億38百万円、減価償却費4億2百万円、棚卸資産の増加額2億57百万円及び法人税等の支払額5億22百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果による資金の減少は2億72百万円（前年同四半期は2億75百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億32百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果による資金の減少は1億57百万円（前年同四半期は5億50百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純増額4億70百万円、長期借入金の返済による支出3億65百万円、配当金の支払額2億54百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2023年5月12日付「2023年3月期 決算短信」において発表しております2024年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,380,794	3,933,444
受取手形、売掛金及び契約資産	2,139,979	3,018,973
電子記録債権	271,929	327,682
商品	4,425,659	4,675,710
販売用不動産	126,270	142,097
仕掛販売用不動産	372,728	363,873
その他の棚卸資産	36,382	37,138
その他	177,857	111,853
貸倒引当金	△2,327	△3,180
流動資産合計	10,929,276	12,607,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,800,300	7,546,807
土地	2,838,302	2,973,895
その他（純額）	2,412,238	2,379,205
有形固定資産合計	13,050,842	12,899,907
無形固定資産		
その他	180,350	209,116
無形固定資産合計	180,350	209,116
投資その他の資産		
その他	2,005,032	2,090,126
貸倒引当金	△844	△1,445
投資その他の資産合計	2,004,187	2,088,680
固定資産合計	15,235,381	15,197,705
資産合計	26,164,657	27,805,297
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,744,689	2,431,200
電子記録債務	372,324	493,531
短期借入金	2,120,000	2,590,000
未払法人税等	538,824	522,101
賞与引当金	201,510	241,596
その他	997,128	1,019,559
流動負債合計	5,974,477	7,297,989
固定負債		
長期借入金	1,890,000	1,525,000
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	329,582	348,911
資産除去債務	424,654	425,254
その他	707,736	701,698
固定負債合計	3,380,983	3,029,874
負債合計	9,355,460	10,327,864

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	12,464,859	12,954,018
自己株式	△133,029	△133,042
株主資本合計	13,959,607	14,448,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	301,947	350,366
土地再評価差額金	81,585	81,585
その他の包括利益累計額合計	383,533	431,952
非支配株主持分	2,466,055	2,596,728
純資産合計	16,809,196	17,477,433
負債純資産合計	26,164,657	27,805,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	18,217,903	17,885,881
売上原価	12,886,388	12,530,355
売上総利益	5,331,515	5,355,525
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,540,717	1,591,809
賞与引当金繰入額	241,050	241,596
退職給付費用	28,017	27,991
貸倒引当金繰入額	990	3,558
その他	2,205,441	2,219,933
販売費及び一般管理費合計	4,016,216	4,084,890
営業利益	1,315,298	1,270,634
営業外収益		
受取利息	197	171
仕入割引	37,450	32,213
その他	47,831	41,614
営業外収益合計	85,479	73,999
営業外費用		
支払利息	7,404	6,093
その他	1,363	3,279
営業外費用合計	8,768	9,372
経常利益	1,392,010	1,335,262
特別利益		
固定資産売却益	9,088	1,235
受取保険金	12,439	1,774
特別利益合計	21,528	3,009
特別損失		
固定資産除売却損	356	0
災害による損失	37,600	—
特別損失合計	37,956	0
税金等調整前四半期純利益	1,375,581	1,338,271
法人税、住民税及び事業税	512,057	506,480
法人税等調整額	△42,646	△42,704
法人税等合計	469,411	463,775
四半期純利益	906,170	874,495
非支配株主に帰属する四半期純利益	188,786	177,679
親会社株主に帰属する四半期純利益	717,383	696,816

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
四半期純利益	906,170	874,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,142	48,451
その他の包括利益合計	63,142	48,451
四半期包括利益	969,313	922,947
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	780,564	745,235
非支配株主に係る四半期包括利益	188,749	177,712

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,375,581	1,338,271
減価償却費	401,966	402,388
のれん償却額	18,053	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	47,062	40,085
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,279	1,454
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,114	19,328
受取利息及び受取配当金	△197	△13,011
支払利息	7,404	6,093
固定資産除売却損益 (△は益)	△8,731	△1,235
受取保険金	△12,439	△1,774
災害損失	37,600	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,089,329	△916,684
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△842,873	△257,778
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,075,711	807,717
未払消費税等の増減額 (△は減少)	90,917	△10,433
その他	△109,193	83,000
小計	1,004,366	1,497,422
利息及び配当金の受取額	197	13,011
利息の支払額	△7,465	△6,328
保険金の受取額	12,439	1,774
災害損失の支払額	△37,600	—
法人税等の支払額	△404,155	△522,984
営業活動によるキャッシュ・フロー	567,782	982,895
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△299	△315
有形固定資産の取得による支出	△316,595	△232,780
有形固定資産の売却による収入	78,945	1,600
無形固定資産の取得による支出	△40,180	△46,650
投資有価証券の取得による支出	△2,384	△2,689
投資有価証券の売却による収入	4,299	7,500
貸付金の回収による収入	643	394
出資金の回収による収入	—	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△275,570	△272,891
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△557,000	470,000
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△345,000	△365,000
自己株式の取得による支出	—	△13
配当金の支払額	△192,622	△207,459
非支配株主への配当金の支払額	△47,040	△47,040
リース債務の返済による支出	△8,765	△8,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△550,428	△157,670
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△258,217	552,333
現金及び現金同等物の期首残高	3,341,712	3,367,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,083,495	3,919,669

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	5,873,583	11,255,042	—	386,387	505,930	18,020,944
その他の収益	—	—	196,958	—	—	196,958
外部顧客への売上高	5,873,583	11,255,042	196,958	386,387	505,930	18,217,903
セグメント間の 内部売上高又は振替高	271,727	1,025	24,490	2,422	1,658	301,322
計	6,145,310	11,256,068	221,448	388,809	507,588	18,519,226
セグメント利益 又は損失 (△)	526,901	881,995	129,396	34,411	△20,173	1,552,531

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,552,531
セグメント間取引消去	△2,155
全社費用（注）	△235,078
四半期連結損益計算書の営業利益	1,315,298

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	5,519,103	11,278,837	—	305,863	570,258	17,674,063
その他の収益	—	—	211,817	—	—	211,817
外部顧客への売上高	5,519,103	11,278,837	211,817	305,863	570,258	17,885,881
セグメント間の 内部売上高又は振替高	233,457	935	18,540	877	689	254,498
計	5,752,560	11,279,772	230,357	306,740	570,948	18,140,379
セグメント利益 又は損失（△）	524,623	806,103	129,997	27,903	37,824	1,526,452

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,526,452
セグメント間取引消去	△2,359
全社費用（注）	△253,458
四半期連結損益計算書の営業利益	1,270,634

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。